

大学からの ご報告事項について

- 令和2年度地域連絡協議会委員の公募結果
- 本年度ご説明・ご議論いただく事項
- BSL-4施設建設工事の状況
- 令和元年度研究拠点形成に係る経費の実績
- 第8回長崎大学高度安全実験施設に係る監理委員会
- 安全管理に関する検討状況

経費詳細

令和元年度「長崎大学のBSL-4施設を中核とする感染症研究拠点の形成に係る経費」の実績 合計27.4億円

(内訳)

研究支援(研究に必要な設備の整備等)	21.3億円
施設の建設	3.7億円
附帯設備の整備	0.3億円
感染症教育研究拠点の形成に係る人件費等	2.1億円

地域連絡協議会とは

高度安全実験(BSL-4)施設の検討状況に関する情報を地域の皆様へお伝えし、議論を行っていくため、「長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会」を2016年に設置いたしました。この協議会は長崎県、長崎市、長崎大学を構成員とした「感染症研究拠点整備に関する連絡協議会」において決定されました。

感染症共同研究拠点では、地域連絡協議会において、広く地域住民の皆様からご意見をいただきながら検討を進めるため、「応募の日において20歳以上で長崎市内に在住している方」を対象に毎年、委員を公募しております。選考方法は『長崎大学における感染症研究拠点整備についての意見』をテーマに、小論文をご提出いただいた方の中から公募委員を選出しております。

ご質問

Q BSL-4実験室では不正をしないようお互いを監視しあうために2人1組で実験するというのですが、実験者の後ろでもう一人が監視するのでしょうか。

A 相互監視するという役割もあり、1つの作業を2人で行うこともあれば、1人が作業して、もう1人が監視するということもあります。

Q 大学のホームページに森田教授等によるリレー講座の動画があり、感染症について色々わかりやすかった。このような情報を積極的に県民にPRして知らせてほしいです。

A 感染症共同研究拠点のホームページにも高齢者施設や医療機関でのコロナ防止をテーマとした動画を掲載しており、2本で50万回以上閲覧されています。このようなものをさらに積極的に活用していく予定です。

感染症共同研究拠点
新型コロナウイルス感染症対策動画集
<https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp/covid-19/>

【長崎大学リレー講座2020】
「新型コロナウイルス感染症の現状と今後の展望」熱帯医学研究所長 森田公一教授
<https://youtu.be/HyCtox8rJAQ>

福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症の対策／長崎大学病院
<https://youtu.be/4XL3Gp99az0>

新型コロナウイルス感染症に対する個人防護具の適切な着脱方法
<https://youtu.be/LPYX2NQoBQg>

Q BSL-4施設の安全の基準について、住民の意見も取り入れながら、竣工前に作成していただきたいです。

A 現在、色々なリスク管理について、具体的に一つ一つご紹介しているところです。次回以降は実験者や廃棄物に関する管理運営方法等をご説明いたしますので、ご意見をいただければと思っています。なお来年夏の施設の竣工後すぐに実験を始めるわけではなく、機材の搬入等を数カ月かけて行い、その後、作成した規則の原案で運用ができるかどうかを、実際の施設を使用して確認する予定です。したがって、規則のあらまきは来年の竣工までに作成し、その後応分の年月を要してきちんと運営できるか確認を行い完成させたいと考えています。



2021年7月竣工予定のBSL-4施設

